

公益財団法人東京 2025 世界陸上財団
第 22 回理事会議事録

1. 開催日時：令和 7 年 2 月 17 日（月）午後 2 時 30 分
2. 開催場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3 階 会議室 8
3. 出席者：（1）理事総数 10 名
出席理事 6 名
会長 尾縣 貢
副会長 潮田 勉
事務総長 武市 敬
理事 田崎 博道、広瀬 史乃、古屋 留美

（2）監事総数 2 名
出席監事 2 名
工藤 陽子、渡邊 剛

4. 議事

（1）決議事項

第 1 号議案 路上競技交通誘導警備等業務委託の契約締結について

（2）報告事項

- ・ボランティアについて
- ・持続可能な航空燃料(SAF)の活用等に関する取組について
- ・大会 200 日前イベント開催について
- ・仮設構築物等整備業務の契約変更について

（3）その他

5. 理事会の議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり本理事会は定款第 36 条の規定に定める定足数の出席があったので、定刻、会長が議長席に着き開会を宣し、次の議案の審議に入った。

(1) 第1号議案 路上競技交通誘導警備等業務委託の契約締結について

議長は、第1号議案を上程し、事務局から資料に基づき説明がなされ、議案の賛否を諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

(2) 報告事項 ボランティアについて

ボランティアについて、事務局から資料1に基づき報告がなされた。古屋理事より「ボランティアに応募する方は、大会を支えるコアファンであると思うので、活動されない方も、色々な形で大会に関われるように取り組んでほしい。また、若い世代のボランティア参加者にとっては、大会での経験が将来のボランティアのコアとしての活動につながるので大切にしてほしい。ボランティアは18歳以上であるが、それ以下のこどもたちの参画についても色々取組を進め、こどもたちの心に残るような大会にしてほしい」との意見が述べられた。

(3) 報告事項 持続可能な航空燃料(SAF)の活用等に関する取組について

持続可能な航空燃料(SAF)の活用等に関する取組について、事務局から資料に基づき報告がなされた。潮田副会長より「非常によい取組であると思う。東京2020大会でもみんなのメダルプロジェクトなど、様々な取組を実施していた。世界陸上でも環境負荷を低減させるような取組を展開し、サステナブルな大会を目指すという強いメッセージになると思う。積極的に情報発信をしていただきたい」との意見が述べられた。

(4) 報告事項 大会200日前イベント開催について

大会200日前イベント開催について、事務局から資料に基づき報告がなされ、了承を得た。

(5) 報告事項 仮設構築物等整備業務の契約変更について

仮設構築物等整備業務の契約変更について、事務局から資料に基づき報告がなされ、了承を得た。

以上をもって議案の全部の審議及び報告が終了し、Web会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく終了したので、議長は、午後3時40分閉会を宣し、解散した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、定款第39条第2項の規定に基づき、出席した会長及び監事が以下に記名押印する。

議長兼議事録作成者 会長 尾縣 貢

令和7年2月17日

公益財団法人東京2025世界陸上財団